

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔神戸市教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	神戸市立井吹台中学校	29（1）	1081
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	神戸市立井吹東小学校	48（4）	1600
	神戸市立井吹西小学校	30（3）	949
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査（アンケート共通項目）

（%）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数（人）	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをやるのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	1058	30.9	50.9	14.0	4.2	46.9	42.6	8.8	1.7	22.4	57.6	17.5	2.5	23.9	54.1	17.8	4.2
		前年②	1064	43.2	41.1	11.2	4.5	56.7	34.9	6.5	1.9	27.2	53.0	16.5	3.3	20.8	54.0	19.8	5.5
		本年①	1042	46.6	39.8	10.0	3.6	60.7	32.1	5.9	1.3	35.9	48.8	13.7	1.6	31.0	49.8	15.1	4.2
		本年②	1055	43.3	46.0	7.4	3.3	55.9	36.0	6.2	1.9	31.6	53.3	13.3	1.9	22.9	54.1	18.6	4.4
	3	中2①	318	30.5	52.8	13.5	3.1	49.7	39.9	9.7	0.6	19.7	57.6	20.1	2.5	18.7	57.3	19.6	4.4
		中2②	336	42.3	42.3	9.5	6.0	56.7	33.4	6.9	3.0	24.6	53.3	17.1	5.1	20.2	51.8	20.8	7.1
		中3①	330	45.5	43.0	8.8	2.7	61.8	31.2	7.0	0	33.3	54.5	10.9	1.2	22.4	54.8	16.4	6.4
		中3②	336	45.2	46.1	4.8	3.9	58.3	35.4	4.2	2.1	34.6	53.7	9.9	1.8	24.7	53.3	16.9	5.1
	2	中1①	378	40.2	48.4	10.1	1.3	56.6	38.6	4.2	0.5	25.0	58.5	15.7	0.8	38.5	52.0	8.5	1.1
		中1②	372	43.0	43.5	11.6	1.9	57.1	37.2	4.6	1.1	23.2	53.1	20.8	3.0	24.2	55.4	17.1	3.3
		中2①	367	37.3	44.7	13.1	4.9	48.5	41.4	7.9	2.2	22.3	53.4	21.3	3.0	20.4	52.8	22.1	4.7
		中2②	371	40.7	45.6	10.8	3.0	50.3	39.5	8.6	1.6	23.5	54.1	19.4	3.0	15.9	54.3	24.1	5.7
	1	小6①	397	56.2	33.8	5.5	4.5	66.0	28.0	5.5	0.5	35.5	48.6	14.9	1.0	50.4	37.3	10.6	1.8
		小6②	393	49.4	36.6	9.4	4.6	68.4	24.7	5.4	1.5	35.2	45.4	16.3	3.1	41.7	42.2	12.2	3.8
		中1①	345	57.7	31.6	7.8	2.9	72.8	22.9	2.6	1.7	52.8	38.5	8.2	0.6	50.3	41.9	6.4	1.5
		中1②	348	44.3	46.3	6.3	3.2	59.7	32.9	5.5	2.0	37.1	52.0	10.1	0.9	28.5	54.8	14.4	2.3
小学校	高学年計	前年①	823	51.5	37.5	7.2	3.8	65.7	27.5	6.0	0.9	34.6	48.8	14.9	1.6	52.3	37.6	8.4	1.7
		前年②	813	50.3	35.9	10.0	3.8	68.6	25.2	4.9	1.2	34.6	48.3	15.0	2.1	47.2	38.7	11.3	2.7
		本年①	835	58.1	31.3	8.4	2.3	70.4	24.4	4.7	0.5	36.4	49.5	12.5	1.7	58.8	34.1	5.4	1.7
		本年②	829	58.7	30.2	8.7	2.4	71.3	24.0	3.9	0.8	38.3	50.6	9.5	1.6	54.4	37.7	6.2	1.7
	6	小5①	426	47.2	41.1	8.7	3.1	65.5	27.0	6.3	1.2	33.8	49.1	15.0	2.1	54.1	37.9	6.4	1.6
		小5②	420	51.2	35.2	10.5	3.1	68.8	25.7	4.5	1.0	34.0	51.0	13.8	1.2	52.4	35.5	10.5	1.7
		小6①	421	55.3	33.7	7.8	3.1	66.5	27.8	5.2	0.5	35.6	50.4	12.1	1.9	58.4	34.2	5.5	1.9
		小6②	423	61.9	27.4	8.0	2.6	71.6	24.1	3.3	0.9	37.7	51.2	9.5	1.7	54.5	38.4	5.9	2.1
	5	小5①	414	60.9	28.7	8.9	1.4	74.4	21.0	4.1	0.5	37.2	48.6	12.8	1.4	59.2	34.1	5.3	1.4
		小5②	406	55.4	33.0	9.4	2.2	70.9	23.9	4.4	0.7	38.9	50.0	9.6	1.5	54.4	36.9	7.5	1.2

学 校 種 別	学 年 等	実 施 時 期	児 童 生 徒 数 (人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした				
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
中 学 校	全 学 年 計	本年①	1032	83.0	4.0	9.6	3.4	80.4	4.8	10.5	4.3	85.1	2.8	8.3	3.8	85.2	2.3	8.5	4.0	
		本年②	1056	84.2	4.0	8.4	3.4	82.3	4.7	9.1	3.9	85.3	3.8	7.5	3.4	85.5	2.0	8.1	4.4	
	3	中3①	329	88.4	3.3	5.2	3.0	86.6	3.6	7.0	2.7	91.2	1.8	5.8	1.2	92.1	1.5	5.2	1.2	
		中3②	336	93.8	2.1	3.0	1.2	91.1	3.3	3.9	1.8	94.9	1.8	2.1	0.3	95.8	0.9	1.8	1.5	
	2	中2①	364	81.0	0.2	12.9	3.8	77.5	5.2	12.6	4.7	79.3	3.3	11.0	6.4	77.6	3.0	13.5	5.8	
		中2②	372	83.6	5.1	7.3	4.0	83.9	4.6	7.8	3.8	82.5	5.1	8.1	4.3	85.5	1.9	7.8	4.8	
	1	中1①	339	79.9	6.5	10.3	3.2	77.4	5.6	11.7	5.3	85.3	3.2	7.9	3.5	86.5	2.3	6.5	4.7	
		中1②	348	75.6	4.6	14.9	4.9	72.1	6.3	15.5	6.0	79.0	4.3	12.1	4.6	75.6	3.2	14.7	6.6	
	小 学 校	高 学 年 計	本年①	835	72.7	17.5	5.1	4.7	65.9	23.7	5.3	5.1	81.2	14.6	2.0	2.2	79.0	17.8	1.6	1.6
			本年②	824	75.4	17.2	3.5	3.9	73.5	19.6	3.6	3.3	82.0	13.1	3.5	1.3	79.7	18.0	1.5	0.8
6		小6①	421	69.1	19.7	6.2	5.0	66.5	22.8	5.9	4.8	76.0	18.5	3.1	2.4	76.0	20.4	1.7	1.9	
		小6②	421	77.2	17.1	2.9	2.9	77.0	17.8	2.6	2.6	81.9	13.8	3.3	1.0	77.7	20.6	1.2	0.5	
5		小5①	414	76.3	15.2	4.1	4.3	65.2	24.6	4.6	5.6	86.5	10.6	1.0	1.9	82.1	15.2	1.4	1.2	
		小5②	403	73.4	17.4	4.2	5.0	69.9	21.4	4.7	4.0	82.0	12.5	3.7	1.7	81.8	15.2	1.7	1.2	

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	大規模校に起因する人間関係の希薄さとコミュニケーション能力の低さ。問題解決力や創意工夫、自主的な取り組みに消極的。苦手意識の強さ。
目標	児童生徒が主体的に学ぼうとすることのできる授業の創造と「分かる授業」推進。自己の力を知り、積極的に自己啓発のできる姿の育成。
取組	基礎基本の定着を図る学習指導と、「話す・聞く」力の育成。学習指導面での学校間連携。児童生徒の主体性を重視した学校・学年行事の実施。

5 重点推進事項

小・中共通	①小中合同教員研修、教科指導面での小小・小中連携の推進 ②小学生のための中学校行事参観、オープンジュニアハイスクール ③中学校教員による小学校での「乗り入れ授業」(小6)
中学校	①生徒が主体的に取り組む学校・学年行事 ②3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施
小学校	①「分かる授業」の推進(全校) ②5年生「自然学校」での合同プログラムの実施(小小連携)(全校)

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ア「学校が楽しい」の項目で、肯定的な回答が小中学校とも増加した。 ・ウ「授業に主体的に取り組んでいる」の項目で、肯定的な回答が小中ともに増加傾向にある。 ・いじめ4項目については、全体的に改善してきている。 ・中3でウ、エ「授業がよくわかる」で肯定的な回答が増加している。 	<p>仲間と共に取り組む機会を増やしたことや、小学校では高学年の一人ひとりに活躍の場を作った。達成感や自己満足度が高まり成果があがったと考えられる。</p> <p>小中合同研修や校内での教科指導面での研修を行った。「話す・聞く」力を教師全体で伸ばそうとする意識が高まってきた成果であると考えられる。</p> <p>福祉体験学習を行ったり、授業や行事の充実を図ったりすることにより、生徒の自己肯定感を高めることを教職員で共通認識を図った。周りの友達も認め相手の気持ちになって考えられるようになってきた。</p> <p>3年生全クラスで数学の少人数クラスを実施した成果が出た。有志を募って合唱を行ったりすることなども、達成感を味あわせることで、学習面での落ち着きにつながり卒業後の進路に向けて意欲的に取り組むことができたと考えられる。</p>

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<ul style="list-style-type: none"> ・エ「授業がよくわかる」の項目で、「わからない」児童生徒が改善されていない。 ・エの項目で、5月よりも12月の方が否定的な回答が増える。中1の2学期からわからなくなる生徒が増加し始める。 ・アの項目で、否定的な回答は減少してきているが、すべての児童生徒について学校が楽しくなるよう目指す。 ・ウの項目で、小学校間に差がある。 	<p>低学年からのつまづきがなかなか取り戻せないのが原因と考えられる。また、自分の目標設定が高かったり、周囲からの期待が大きいため逆に満足度が低い。基礎学力を定着させる更なる取組が必要である。</p> <p>年度当初のやる気が薄れてきた。学習内容が難しくなっていくことが要因でもあるが、授業方法の工夫改善や、更なる課題を設定し、その頑張りを認めやるなど、生徒の意欲を低下させない取組が必要である。</p> <p>居場所づくり・絆づくりなど取組がまだ不十分である。また、児童生徒の活躍する場をもっと意識的に設定する必要がある。</p> <p>小小連携などで、学校としての進め方を共有していくことが不十分であった。</p>

7 2年間の調査研究の成果と課題

〔小・中共通〕

- ① 小中合同教員研修、教科指導面での小小・小中連携の推進
 - 中学校では教員が一方的に説明する授業形態から、生徒の意見を引き出したり、お互いに学びあう授業をしようするなど、教職員の意識が変化した。
 - 「授業がよくわかる」の項目で、学習内容が難しくなることもあり「わからない」児童生徒が想定したほど改善していない。低学年からのつまずきがなかなか取り戻せないのが原因であると考えられる。
- ② 小学生のための中学校行事参観、オープンジュニアハイスクール
 - 参加した児童の感想文を見ると予想以上に好評であった。オープンジュニアハイスクールでは、中学校の生徒会執行部が、小学生からの中学校生活についての質問に答え先輩としての自覚も高まった。小学生にとっては、中学校入学に際して、先輩から実際に説明を聞くことにより不安を取り除く一助となった。
 - 児童による中学校の参観だけに留まらず、児童生徒の更なる交流により、自己肯定感を高める取組の工夫が必要である。
- ③ 中学校教員による小学校での「乗り入れ授業」（英語・数学）
 - 中学校で学習についていけなくなるかもしれないという先入観をある程度取り払うことができた。また、「中学校に行くのが楽しみになった」という感想から、中学校に不安を抱いている児童に安心感を与える一助になった。
 - 他の教科で行うことができなかった。取組の工夫が必要である。

〔中学校〕

- ① 生徒が主体的に取り組む学校・学年行事
 - 体育会や文化祭では、リーダーとなる3年生にとっても、1、2年生にとっても、大変であったがその分、やり遂げた時の達成感は大い。
- ② 3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施
 - すべて数学科の教員が担当することで、基本的に同じ内容で授業していくことが可能となった。一人ひとりに手厚く学習指導を行うことが生徒たちの意欲的な学習につながっている。
 - 基礎コースは、より丁寧できめ細かな指導を心がけるため、進度が遅くなりがちであった。

〔小学校〕

- ① 「分かる授業」の推進
 - 校内研修等を通して「分かる授業」に取り組むことで、子供たちの「話す・聞く」力がついてきている。教員の授業づくりへの意識の高まりが見られ、工夫が多く見られるようになってきた。
 - 意識調査「授業がよくわかる」の6年生の項目での伸びがなかった。授業内容の難しさや研修での打合せ不足が起因していると思われるが、高学年における授業のあり方を充分検討していく必要がある。
- ② 5年生「自然学校」において合同プログラムの実施（小小連携）
 - 井吹東小と井吹西小の5年生合わせて約500人でのプログラムであり、両校の交流を目的として実施した。各学校の特徴をクイズで伝えたり、いっしょにダンスやゲームなどをしたりして楽しく交流し、親睦を深めることができた。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

○・・・予定どおり実施

△・・・時期を変更して実施又は実施予定

◇・・・計画書にはないが新たに実施

×・・・実施しなかった

<平成24年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
通年	朝のスピーチ（井吹西小） 読み聞かせの会（井吹東小） 教科別指導、複数指導（井吹西小）	○ ○ ○	朝の読書（全学年） 生活ノートによる生活観察（全学年） 数学の少人数指導（3年生）	○ ○ ○
4月	学級経営・児童理解研修（井吹東小） 子どもを見合う週間（井吹西小）	○ ○	第1回連絡協議会〔東京〕（小・中） 教育委員会訪問	○ ○
5月	学級経営・児童理解研修（井吹西小） ベテランによる授業提案（井吹西小）	○ ○	第1回調査研究委員会 文部科学省学校訪問	○ ○
6月	運動会、実行委員会（共通）	○ ○	教育相談週間（全学年） 福祉体験学習（1年）	○ ◇
7月	ともランコンサート（井吹東小） スポーツ活動実行委員会（井吹西小5・6年）	○ ○	学級対抗学年行事（全学年）	○
8月	神出学園にて不登校研修（井吹東小） 校内研修（共通）	× ○	体育会実行委員会（全学年） 合同研修会【小中合同】	○ ○
9月	あいさつ運動（共通） リレー大会実行委員会（井吹東5・6年）	○ ○	生徒による学年間指導（体育会）（全学年） 合同研修会【小中合同】	○ ○
10月	自然学校合同行事（5年生共通） リレー大会実行委員会（井吹東1～4年）	○ ×	生徒による合唱コンクール練習（全学年） 中学校文化祭への招待【小中合同】 ブロック協議会（三重県）（小・中）	○ ◇ ○
11月	音楽鑑賞会（共通） 代表授業研修（共通）	○ ○	オープンジョニアハイスクール【小中合同】 第2回調査研究委員会	○ ○
12月	ともランコンサート（井吹東小） スポーツ活動（井吹西小5・6年）	○ ○	第2回意識調査 パンフレットの作成	○ ◇
1月	防災学習（共通）	○	小中合同防災学習（命のコンサート） 学校評価	○ ○
2月	読み聞かせの会（共通） いぶキッズスポーツデー（井吹東）	○ ○	第2回連絡協議会（東京）【小中合同】 乗り入れ授業	○ ○
3月	6年生奉仕活動（共通） ともランコンサート（井吹東）	○ ○	第3回調査研究委員会 3年生奉仕活動	○ ○

<平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	学級経営・児童理解研修（井吹東） 子どもを見合う週間（井吹西小）	○ ○	第1回小中連絡協議会 第1回連絡協議会〔東京〕（小・中）	○ ○
5月	学級経営・児童理解研修（井吹西） ベテランによる授業提案（井吹西）	○ ○	授業研究週間（全学年） 第1回調査研究委員会	○ ○
6月	運動会、実行委員会（共通） いぶキッズスポーツデー（井吹東）	○ ○	文部科学省学校訪問 出前授業 授業交流	○ ○

7月	ともランコンサート（井吹東） スポーツ活動、実行委員会（井吹西小5・6年）	○ ○	学級対抗学年行事（全学年）	○ ○
8月	夏休みがんばり勉強（共通） 校内研修（共通）	○ ○	合同研修会【小中合同】教科指導面での研修 第2回調査研究委員会	○ △
9月	いぶキッズスポーツデー（井吹東） 分かる授業アンケート（共通）	○ ○	生徒による組体操、マスゲーム（全学年） 合同研修会【小中合同】教科指導面での研修	○ ○
10月	自然学校合同行事（5年生共通） リレー大会実行委員会（井吹東1～4年）	○ ○	生徒による合唱コンクール練習（全学年） 中学校文化祭への招待【小中合同】	○ ○
11月	音楽鑑賞会（共通） 代表授業研修（共通） いぶキッズスポーツデー（井吹東）	○ ○ ○	ブロック協議会（大阪府）（小・中） オープンジュニアハイスクール【小中合同】 第2回調査研究委員会	○ ○ ○
12月	ともランコンサート（井吹東） いぶキッズスポーツデー（井吹東） IBK フェスティバル 1603	○ ○ ○	第2回アンケート調査 わくわくオーケストラ（中1） 市民救命士講習会（中2）	△ ○ ◇
1月	防災学習（共通）	○	第3回調査研究委員会 かるた大会（中1・2年）	○ ○
2月	読み聞かせの会（共通） いぶキッズスポーツデー（井吹東）	○ ○	リーフレットの作成 第2回連絡協議会（東京）【小中合同】	○ ○
3月	ともランコンサート（井吹東） さよなら会（共通）	○ ○	乗り入れ授業 三年生を送る会	× ○

（2）重点推進事項の実施状況

〔小・中共通〕

① 中学校授業公開・教科別討議

9月に中学校で授業を公開して小学校の教員が参観し、その後教科別に分かれて小グループで「話す力」をテーマに研究討議を行った。夏季休業中に一度、小中合同夏季研修において教科別に情報交換や教科間の連携のポイントなどについて話し合っているため、スムーズに討議を進めることができた。

特に中学校では、教員が一方的に説明するいわゆる講義型の授業形態が多くなってしまっているので、生徒から意見を引き出したり、お互いに学びあう授業を展開したりする授業案を作成し、小学校の教員に参観してもらったことは、中学校の教員にとって自分の授業を振り返るよい機会となった。調査項目「授業に主体的に取り組んでいる」については、教職員の意識が高まり肯定的な回答が増えてきている。しかし、「授業がよくわかる」では、中学校の2学期ごろから学習内容が難しくなることもあり、「わからない」と回答する生徒が増加していくことが課題である。



② オープンジュニアハイスクール

11月に小学6年生全員が中学校を訪れた。中学校の生徒会執行部が、小学生からの中学校生活についての質問に答えたり、制服や体操服の紹介をしたりした。また、パソコン部が作成した学校紹介ビデオを見て、1年間の大まかな



行事を知り、中学校の授業風景を小学生が興味深く見学した。また放課後、希望する小学生には部活動体験も実施した。

小学生は、中学校入学について期待とともに不安も持っているが、実際に見たり説明を聞いたりして、不安を取り除く一助となった。

また、この直前に開催された中学校の文化祭にも、小学校6年生の希望者に展示や舞台鑑賞をする機会を設け、多くの児童が参加した。参加した児童の感想文を見ると「舞台が楽しかった」、「中学生の合唱や作品はすごい」など、参加してよかったと予想以上に好評であった。

③ 中学校教員による小学校での「乗り入れ授業」(小6、数学)

6月27日の3、4校時に、6人の中学校の数学教員が2つの小学校へ行き、「ペレナスの輪」「ガウスの子供の頃の逸話」「文字の式の利用」などの授業を行った。

「楽しかった」「思っていたよりもよくわかった」と授業後の小学生の感想にあり、中学校で学習についていけなくなるかもしれないという先入観をある程度取り払うことができた。

「中学校に行くのが楽しみになった」という感想から、中学校に不安を抱いている児童に安心感を与える一助になった。



〔中学校〕

① 体育会の組体操・マスゲーム

3年生が中心となって計画し、1、2年生に説明する機会を設け、生徒主体の組体操、マスゲームを行った。女子のマスゲームでは3年生が修学旅行で学んだ「戦争」をテーマに、夏休みから振り付け等を考え、1、2年生のクラス代表に伝授しておき、2学期が始まってからは、各クラス代表が級友に教えていった。全体練習でも、3年生が各学年に向けて振り付けを指導し、3年生は勿論、1、2年生にとっても、大変であったが、やり遂げた時の達成感は大きかった。



② 3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施

生徒・保護者の希望により、各クラスを「練習コース」と「基礎コース」に分けて実施している。両コースとも、数学科の教員が担当し、基本的に同じ内容で授業していく。本校は、新興住宅地にあり地域の進学に対する意識が高く、基礎コースにも約10名が希望している。

基礎コースは、より丁寧に分かりやすい授業を心がけるため、進度が遅くなることもあるが、一人一人に手厚く学習指導を行うことが



でき、効果を挙げている。また、生徒たちも意欲的に学習している。

〔小学校〕

① 主体的な学びを目指す、分かる授業の推進（教科指導研究会の充実）（全校）
 コミュニケーション能力の向上については、「学級づくり」と「分かる授業の推進」を目指し、5月に各学年ベテランの教員が授業を公開し、その後授業づくりの疑問・悩みについて討議をした。また、「声を出すことは楽しい」と子どもたちが感じられるよう、全校の取組として音読タイムなどを設け、日々取り組んでいる。夏休みには、講師を招き「授業って楽しい！」と子どもが感じる授業づくりについての講話をしていただいた。2学期からの授業が楽しみになったと感じることのできるよい時間を持つことができた。



② 5年生「自然学校」合同プログラム（全校）
 井吹東小と井吹西小は近隣の学校同士であるため、習い事やスポーツ活動などを通して友達になっている子供が多少いるが、子供たちの多くはお互いの交流はほとんどない。中学校入学以前から親睦を深め、中学校への接続を円滑にするといった目的でこの機会を設けた。24年度、25年度と2回実施している。4泊5日の自然学校を同じ宿舎に宿泊し、最終日に井吹東小と井吹西小の両校児童が交流するプログラムである。ダンスやゲーム等を通して楽しく過ごしたり、各学校の特徴をクイズで紹介しあったり、また運動会で行った学年演技を見せ合ったりして大いに盛り上がり、交流を深めることができた。



9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活動内容
4 (1)	事業全般	調査研究委員会の資料準備および運営 本事業の情報整理と各種コーディネート
4 (2)	小・中連携	小中連絡協議会の準備、運営 小学校担当者との合同研修の連絡、研修担当者との連絡調整
	小・小連携	小学校担当者との連絡調整 自然学校の2校での合同プログラムでの助言
4 (3)	データ収集、分析等	小学校のデータ・意見を集約 各学年の教師に分析を依頼し集約
4 (4)	取組の評価	意見の集約 調査研究委員会の資料準備および運営
4 (5)	資料作成、広報等	リーフレット又はパンフレットの作成 学校ホームページの資料提供など

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・小中3校で8月と9月に合同研修を行い、「魅力ある学校づくり」への意識を高めることができた。
- ・それぞれの学校で生徒主体の学校学年行事を増やすことができ、絆づくりへの取組を深めた。学習面でも「話す・聞く」力を伸ばすことができた。
- ・年度当初に日程を調整して計画的に進めることができた。

<課題>

- ・大規模校のため、教員の共通理解を図ることが難しかった。
- ・事業担当者が異動により1年で交代したことにより、事業を推進していく上でスムーズに進まないことがあった。
- ・年度当初や学校行事などの忙しさから、蜜に連絡を取ることが難しかった。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

[重点推進事項]

・小中連携の推進

小・中学校9年間の発達や学びを確保する観点から、恒常的な取組としての小中連携や小小連携の推進を支援し、行事などの児童生徒の交流や合同研修などの教員の交流だけでなく、「小中一貫カリキュラム」の作成などの教育課程の編成等、効果的な取組を全市へ普及啓発を行う。

・分かる授業推進プラン

「分かる授業」を推進するために、①授業の改善、②教えるプロの育成、③新しい教材の開発と活用、④家庭学習支援・地域力の活用を4つの柱として全市で取組の充実を図る。

[課題と成果]

- 小中連携については、約9割の小・中学校が学習指導等の共同研究や合同研修を実施しており、全市的な広がりが見られる。
- 「分かる授業」推進については、授業改善、授業力向上、教材開発等、具体的な取組が進んできている。
- 学習指導等の合同研修から、「小中一貫カリキュラム」の作成へと小中連携の発展・深化をいっそう推進していく。
- 「分かる授業」に関する具体的な取組をさらに学校間で交流・普及していく必要がある。

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所 属	人数	備 考 (主な職名等)
学識経験者	1	関西国際大学准教授
神戸市教育委員会	3	首席指導主事、指導主事2名
地域住民	4	地域代表者、各学校PTA1名
神戸市立井吹台中学校	4	校長、教頭、事業担当者、不登校担当
神戸市立井吹東小学校	4	校長、教頭、事業担当者2名
神戸市立井吹西小学校	3	校長、教頭、事業担当者

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・地域住民が委員に加わるにより、学校は常に保護者や地域に対して説明責任を意識でき、より取組について充実させようと務めた。
- ・保護者や地域から忌憚のない意見がでた。

<課題>

- ・事業の趣旨や学校の教育活動について、ホームページや学校便り等、さらに効果的な周知方法について工夫が必要である。

12 作成資料等

<平成24年度>

- パンフレット「井吹っ子プロジェクト」平成24年度版

<平成25年度>

- リーフレット「井吹っ子プロジェクト」平成25年度版

13 関連URL

特に無し

【問い合わせ先】

所属	神戸市教育委員会 指導課			電話	078-322-5786	
職名	指導主事	氏名	木山 正規	よみがな	きやま	まさのり